

事業番号	事務事業名	敬老祝賀事業費	所管課名	保健福祉課	令和 2 年度課長名	水島 剛
01505	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	福祉係	担当者・シート作成者
	施策名	14	高齢者福祉の推進	根拠法令等		藤原 ちあき

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	町内の米寿対象者の方へ米寿記念品の送付及び75歳以上の高齢者の方へ敬老祝賀品(商品券)の送付。	新町成立時に旧町村の事業を継承した。令和2年度からは敬老会事業の見直しに伴い、敬老の日がある9月を『敬老月間』とし、敬老月間中に町内の米寿対象者の方へ米寿記念品の送付及び75歳以上の高齢者の方へ敬老祝賀品(商品券)を送付することとした。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度
ア 町内の米寿対象者の方	ア 町内の米寿対象者数	人	見込 実績			131 127	132	132
イ 町内の75歳以上の高齢者の方	イ 町内の75歳以上の高齢者数	人	見込 実績			2,872 2,663	2,809	2,809
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度
ア 米寿の対象者の方を敬い、祝う	ア 記念品の送付件数	件	目標 実績 達成率			131 127 96.9%	132	132 96.2%
イ 75歳以上の高齢者の方を敬い、祝う	イ 記念品の送付件数	件	目標 実績 達成率			2,872 2,663 92.7%	2,809	2,809 94.8%
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度
ア 米寿対象者の把握、記念品の送付	ア 記念品の送付件数	件	目標 実績 達成率			131 127 96.9%	132	132 96.2%
イ 75歳以上の高齢者の把握、記念品の送付	イ 記念品の送付件数	件	目標 実績 達成率			2,872 2,663 92.7%	2,809	2,809 94.8%
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	01	款	03	項	01	目	04	大事業	中事業	予算上の事業名				事業番号						
	一般会計		民生費		社会福祉費		老人福祉費		03	01	敬老祝賀事業費				01505						
予算(千円)	30年度実績	1年度実績	2年度実績	3年度見込	4年度見込	前年比	決算(千円)	30年度実績	1年度実績	2年度実績	3年度見込	4年度見込	前年比								
国庫支出金							国庫支出金														
県支出金							県支出金														
町債							町債														
その他特財							その他特財														
一般財源			9,356	7,235	7,235	9,356	一般財源			6,447	7,235	7,235	6,447								
合計			9,356	7,235	7,235	9,356	合計(A)			6,447	7,235	7,235	6,447								
財源名称							従事正職員人数			5	5	5	5								
							延べ業務事務時間			200	200	200	200								
							人件費計(千円)(B)			669	670	670	669								
最終予算額		9,356 千円		予算執行率		68.9%		トータルコスト(A+B)			7,116	7,905	7,905	7,116							
主な支出事業内容(予算)	報償費					8,200 千円					主な支出事業内容(決算)	報償費					5,346 千円				
	需用費					207 千円						需用費					191 千円				
	役務費					689 千円						役務費					672 千円				
	委託料					260 千円						委託料					238 千円				

事業番号	01505	事務事業名	敬老祝賀事業費	所管課名	保健福祉課
------	-------	-------	---------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
高齢者福祉のための敬老会事業の見直しにやり、平等性は高まった。
②この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
近隣市町村の状況や平等性等を鑑み、敬老祝賀事業についての見直しを行った。
③この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
平等性は高まったとの意見が寄せられた。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	高齢者福祉に結びついている。
	②町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	現在の内容は住民にまかせることはできない事業である。	
③対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	対象・意図の妥当性から適切である。	
有効性 評価	④成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	平等性を保ちながら実施できている。
	⑤廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	この事業以外に平等性を保つものは現時点で想定されない。	
⑥方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)			
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	取り組みについての事業は他にない。	
効率性 評価	⑦事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	事業の見直しにより、事業費の削減につながった。
⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方を見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	事業の見直しにより、事業費の削減につながった。	
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	平等性が高まり、公平・公正となった。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

①上記の評価結果		②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	高齢者福祉のための敬老会事業の見直しにより、平等性は高まった。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 対象者の方がより活用しやすい記念品の検討が必要。																							
⑤改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1" style="text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
現状の把握し送料等のコストを考慮する必要がある。		(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)																							